

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 nms ホールディングス株式会社  
 コード番号 2162 URL <http://www.n-ms.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5333-1711

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,249	11.0	63	△75.6	96	△52.8	34	△46.3
2019年3月期第1四半期	13,742	6.3	258	18.5	203	27.9	63	△78.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 113百万円 (776.7%) 2019年3月期第1四半期 12百万円 (△90.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.99	—
2019年3月期第1四半期	3.70	3.69

(注) 2020年3月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	31,042	5,766	18.5
2019年3月期	29,462	5,744	19.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,755百万円 2019年3月期 5,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	15.4	100	△58.3	60	△72.7	165	162.5	9.61
通期	72,000	24.7	1,300	136.9	1,000	75.6	850	104.5	49.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名) TKR DE MEXICO S.A. de C.V. 除外 1社(社名) -

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	21,611,000 株	2019年3月期	21,611,000 株
2020年3月期1Q	4,449,726 株	2019年3月期	4,449,726 株
2020年3月期1Q	17,161,274 株	2019年3月期1Q	17,161,274 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の保護主義的な動きとその影響、それらも含めた中国を始めとする新興国・資源国経済の動向や英国のEU離脱に向けた調整が難航していることも加わり、全体としては景気の減速傾向が強まりつつ推移しました。

わが国経済においても、雇用情勢の改善傾向は続いているものの、外需の弱さを背景に停滞感が強まりました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、変化を好機に攻めの施策で成長基盤を構築すべく、2019年2月公表の「新中期経営計画」に基づき、アクションプランの確実な実行と投資効果の刈り取りを図るべく活動を開始しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高15,249百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、営業利益については国内外における、新規拠点立ち上げなど成長戦略の実行に伴うコスト負担や、PS事業における急激な部材調達価格の上昇に対する売価は正までのタイムラグ影響が残り、63百万円（前年同四半期比75.6%減）となりました。経常利益は96百万円（前年同四半期比52.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比46.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内HS事業の製造派遣・製造請負事業においては、新卒採用や外国人技能実習生の活用により、採用力の強化と共に定着率の向上を図ることができましたが、成長戦略としてその施策を進めている技術者派遣事業、外国人技能実習生向け研修事業や、物流3PL（サードパーティー・ロジスティクス）受託・テクニカル流通加工事業会社（nms ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社）において、事業拡大に伴うコストの発生がありました。

海外HS事業は、ベトナム拠点（NMS VIETNAM CO., LTD.）における新規受注の取り込みに伴う一時的な労働生産性の悪化や、インドネシア及びブラオスにおける、事業立ち上げに伴うコストの発生があったものの、中国及びASEANともに需要堅調となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、5,376百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント利益は49百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。

#### ② EMS事業（エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業）

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内EMS事業は、米中貿易摩擦等の影響もあり、工作機械関連需要が減少したことに加え、重点施策として進めているベトナムや米国拠点設立等に係る先行投資コスト発生等による利益圧迫要因がありましたが、全体としては概ね計画通りに順調に推移しました。

海外EMS事業におきましては、マレーシア生産拠点（TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD.）において、主力の白物家電関連における急激な増産対応による労働生産性の悪化はあったものの、中国においては引き続き堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,708百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は150百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

#### ③ PS事業（パワーサプライ事業）

当第1四半期連結累計期間におきましては、前事業年度より既存製品の需要調整や新規分野への製品投入までの端境期を脱したこともあり、売上は堅調に推移しました。

利益面につきましては、前事業年度に発生した急激な部材調達価格の上昇に対する売価は正までのタイムラグ影響が残り、減益となりました。売価は正につきましては、下半期に向けその対応が進む計画となっており、通期では想定どおり利益を確保できる見込みです。

この結果、当セグメントの売上高は、3,164百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント利益158百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は22,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ773百万円増加いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が213百万円、受取手形及び売掛金が397百万円、その他流動資産が722百万円増加した一方で、現金及び預金が632百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は8,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ806百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が410百万円、無形固定資産が383百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は31,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,580百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は21,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が207百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が532百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は3,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,936百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が489百万円、その他固定負債が1,444百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は25,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,558百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が79百万円増加した一方で、利益剰余金が57百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は18.5%（前連結会計年度末は19.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日において発表いたしました「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の通りであります。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしておりますので、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,246,966	3,614,499
受取手形及び売掛金	10,761,029	11,158,359
製品	1,324,952	1,395,357
仕掛品	589,589	600,806
原材料及び貯蔵品	4,181,589	4,395,526
その他	978,784	1,701,778
貸倒引当金	△681	△10,797
流動資産合計	22,082,231	22,855,530
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,174,187	1,166,687
その他(純額)	4,438,310	4,856,405
有形固定資産合計	5,612,497	6,023,092
無形固定資産		
その他	540,104	923,166
無形固定資産合計	540,104	923,166
投資その他の資産		
その他	1,233,958	1,247,228
貸倒引当金	△6,119	△6,119
投資その他の資産合計	1,227,838	1,241,108
固定資産合計	7,380,441	8,187,366
資産合計	29,462,672	31,042,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,486,367	3,953,648
短期借入金	13,073,800	13,084,058
未払金	1,914,296	1,905,589
未払法人税等	193,065	140,215
未払消費税等	269,845	355,180
賞与引当金	477,113	389,545
その他	1,329,616	1,537,389
流動負債合計	21,744,105	21,365,626
固定負債		
長期借入金	1,212,540	1,702,427
繰延税金負債	140,636	139,492
退職給付に係る負債	263,325	266,417
その他	357,093	1,801,941
固定負債合計	1,973,595	3,910,279
負債合計	23,717,701	25,275,906

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	527,182	527,182
利益剰余金	6,118,794	6,061,544
自己株式	△909,838	△909,838
株主資本合計	6,236,828	6,179,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,807	△52,861
為替換算調整勘定	△450,920	△371,310
その他の包括利益累計額合計	△502,728	△424,171
新株予約権	3,056	3,056
非支配株主持分	7,813	8,527
純資産合計	5,744,970	5,766,990
負債純資産合計	29,462,672	31,042,896

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	13,742,186	15,249,375
売上原価	11,814,108	13,317,088
売上総利益	1,928,078	1,932,287
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	574,570	703,855
賞与引当金繰入額	73,808	35,423
その他	1,020,909	1,129,735
販売費及び一般管理費合計	1,669,288	1,869,014
営業利益	258,789	63,272
営業外収益		
受取利息	7,008	11,208
受取配当金	300	300
為替差益	-	30,911
不動産賃貸料	9,649	9,692
消費税差額	97,781	-
その他	17,957	37,980
営業外収益合計	132,696	90,093
営業外費用		
支払利息	44,699	48,400
為替差損	115,908	-
不動産賃貸原価	7,033	7,091
外国源泉税	2,795	930
その他	17,331	812
営業外費用合計	187,768	57,235
経常利益	203,717	96,130
特別利益		
固定資産売却益	170	2,732
特別利益合計	170	2,732
特別損失		
固定資産除却損	14	1,303
事業構造改革費用	48,113	-
特別損失合計	48,127	1,303
税金等調整前四半期純利益	155,760	97,558
法人税等	90,185	63,205
四半期純利益	65,574	34,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,117	258
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,456	34,094



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	65,574	34,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,402	△1,054
為替換算調整勘定	△46,274	79,771
その他の包括利益合計	△52,676	78,717
四半期包括利益	12,897	113,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,935	112,651
非支配株主に係る四半期包括利益	2,962	419

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、事業譲受により株式取得した TKR DE MEXICO S. A. de C. V. を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	4,524,504	6,422,997	2,794,684	13,742,186	-	13,742,186
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	16,193	158,326	16,814	191,334	△191,334	-
計	4,540,698	6,581,323	2,811,499	13,933,521	△191,334	13,742,186
セグメント利益	99,030	124,802	158,553	382,386	△123,597	258,789

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,597千円には、セグメント間取引消去△203千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,393千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,376,159	6,708,825	3,164,391	15,249,375	—	15,249,375
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,395	298,312	86,350	398,058	△398,058	—
計	5,389,554	7,007,137	3,250,741	15,647,434	△398,058	15,249,375
セグメント利益又は損失(△)	49,543	150,687	△8,791	191,439	△128,166	63,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△128,166千円には、セグメント間取引消去1,051千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,218千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

EMS事業において、Sony Electronics Inc.の事業部門「Sony Service and Operations of Americas」に関連する事業を譲り受けており、当該事業譲受によりTKR DE MEXICO S.A. de C.V.の株式を取得したため、同社を当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において236,474千円であります。

なお、のれんの金額につきましては、取得原価の配分を完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。